

ひでお行動

VOL.6

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

3月1日

「高校生の皆さん、授業料4月から無料にします。」「子ども手当で6月より受け取れます。」「頑張る、社民党、吉泉秀男です。」と昨日街宣で訴え、高校生から力強く手をふってもらった姿が浮かぶ。今日は卒業式を迎える公立高校が多い。卒業を迎える生徒に、まだ就職決まらず進路が定まらない生徒もいる。生徒も先生も父兄も頑張ったのに・・・胸を膨らませ頑張ろうとしている若者を受け入れない社会に腹が立つし、政治の道にいる自分自身を情けなく思う。小野木会長と話し合った「訓練、生活援助資金」制度を早急に進めるために担当部署と連絡し動く。「障害児サポート」関係資料を宇都秘書に集めるようお願いし、3日大商の社長自然エネルギー相談にくる受け入れ体制を整える。北海道教員組合書記長逮捕と連絡入る。捜査が進みここまで来ると小林議員の進退、民主党としての対応求められるし、「政治とカネ」早急にけじめをつけなければならない。いくら連立与党であってもキチンとした態度を国民にわかるように示さなければならない。お昼海員組合1500名の陳情団きて重野幹事長、服部議員と対応する。塩釜、汽船沼等東北ブロック陳情団に激励する。予算委員会集中審議も今日で終わり明日採決し本会議開催し衆議員通過させ年度内成立を図る旨連絡入り、本会議で賛成討論私が立つことになる。時間



は5分である。民主、自民、公明、各15分、共産7分、社民5分の割り振りである。本当に時間長くないのかと思う。しかし、国会議事堂壇上で発言できる事は、自分の人生で最高の喜びである。多くの皆さんに感謝、感謝である。宇都秘書と発言内容打ち合わせに入る。4時から生産者が「米モデル事業」など新農政に対する理解が不足している状況など衆議院農水調査室「柿本主席調査員と意見交換。彼は東京大学法学部卒業後農林水産省に入省し農林調査室のトップである。最近同級生である経済学者「金子勝」氏と共同執筆で民主党政権への緊急提言「日本再生の国家戦略を急げ」と題して小学館から出版し、「世界」にも投稿し理論派である。意見交換は5時過ぎまで続き、急に出版お祝いをやることになる。6時から社民党政策室農政担当の牛越氏秘書2人を誘い、先日お邪魔した赤坂の社民党支援「中国料理天府」で開く。武本氏を囲み連立政権約半年の現状を飲食しながら楽しく時間を過ごす。宿舎に戻り明日の賛成討論内容、頭をめぐらす。

3月2日

連立政権での初めての予算、衆議院通過で年度内成立なる。4時半から始まった本会議、議場登壇し、初めての討論（今議会での発言討論3度目）、持ち時間5分であるが1分50秒オーバーする。傍聴者も多数いて緊張したが議場内を見渡し討論ができた。発言内容は連立の一翼であり賛成討論ではあるが社民党らしさを出していくべきであると反省させられる。終了し前々から企画していた新人議員3人の飲み会、8時から昨日もいった「天府」で開く。行く時タクシードライバーの母親鶴岡榎引出身、そしてツイッターやっている。社内に山形県出身いる。紹介してくれると言うので名詞交換、気分の良いさい先であった。飲食途中「服部」に電話入る。福島党首か



らである。党首も来るという。私が帰る時ツイッターに書き込みしていたので党首はそれを見て電話してきたのである。党首は私を、私は党首をフォローしている。ツイッターに感謝、中嶋、服部も秘書に相談しツイッターに挑戦したい・・・福島党首は人気がある。この店と社民党との関係を説明し、店の奥さんを紹介する。党首人気ある。直ぐに写真撮影求められる。店の客からは名刺交換求められる。さすが党首である。しかし多忙の中私達の飲み会にわざわざ来るとは・・・参った。党首の心配りに感謝する。オーナーが中国に行っており留守だったので残念である。今日は9時10分から両院代議士会、会議途中で尾花沢市農業委員会挨拶に見え20分待って頂き要請書受け取りながら新農政について意見交換、転作物「ソバ」を奨励してきたが新農政で奨励金激減、中山間地域農業の現状訴えられる。農林水産常任委員会質問に載せ中山間地農業課題を明らかにし前に進むよう努力することを約す。13時半から二酸化炭素25%削減を世界に公約しながら今進んでいる「地球温暖化対策基本法」の政審全体会議である。環境やみどりを軸とした経済の構築と低炭素社会を実現するために社民党は努力しているのに、温暖化対策として原子力依存を強調したり、基本的施策に掲げられる「キャップ、トレード方式の国内排出量取引制度」が不明なまま進んでいる現状に対し危機感を持ちながらの勉強会である。環境省、経済産業省と担当分野がそれぞれ違うのも大きな問題である。社民党として環境部会を軸に取り組みを強めていくことを確認する。4時15分から代議士会はじまり本会議へ、前に戻る、今日は時間逆に書き込してみました。

3月3日



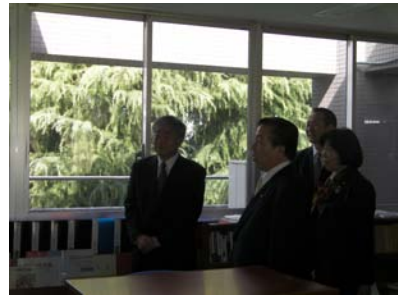
9:10 私と又市副党首、阿部政審会長の三名が、社民党を代表して朝鮮学校を訪問し、授業風景や教育内容を

参観。英語、音楽、数学、古典（日本）、パソコンの授業、図書館等を見て回った。授業風景は日本と全く変わらない。教科書の内容も日本の高校生が習っているものと同じだ。違和感はない。興味深かったのが古典の授業。『徒然草』の授業だったのだが、教室に入ると、黒板に1333（鎌倉幕府滅亡の年）の数字、スライドには後宇多天皇の画像や「二度に渡る蒙古襲来」の文字が見える。最初は日本史の授業かと思ったほどだ。吉田兼好の生きた時代背景を含めて授業で教えているのには感心した。私の高校時代、古典の授業で、歴史的背景まで含めて教えられることはなかったように思う。

参観後校長先生や理事長、生徒たちと懇談。校長先生から、この学校に通う生徒の48.3%が朝鮮籍、48.1%が韓国籍、3.6%が日本籍だとの説明を受けたときは、正直驚いた。この説明だけで、朝鮮学校を排除する理由は、まったくないということが分かる。生徒たちの話にも感銘を受けたので、一端を紹介しておきたい。

Aさん「私のアイデンティティは、親や先生から教わったのではなく、友達から教わったもので、心で実感したものです。この学校に入って良かったと思う。日本の学校なら、友達といっても数人の限定されたグループになっていたと思





う。でも、ここでは全員が友達です。」
Bくん「高校無償化の話は衝撃的だった。しかし排除されるといふニュースを聞いた時は、もっと衝撃

を受けた。高校無償化の話が何もなければ、このまま卒業していただけたと思う。この学校は友達とのつながりが強く、学校を愛するという気持ちが強い。無償化されればもっと良い環境になる。」

Cさん「チマチョゴリが私のアイデンティティー。だからチマチョゴリで登下校している。日本人のいろんな目がある。怖い目もある。でも友達がこの学校にいるということを支えに登下校している。最初は怖かったが、今は怖くない。」

校長先生の話では、「チマチョゴリでの登下校は危険なのでやめている」とのこと。大多数の生徒は学校でチマチョゴリに着替えているという。同じ日本人として、情けなく恥ずかしい。

Dさん「ウリハッキョ（私たちの学校）は、一人はみんなのために、みんなは一人のためにが教え。みんなで助け合う、相手を見捨てない、一つのことをみんなでやる、失敗したらみんなで励まし合う。差別が無くなるのは簡単ではないと思うが、友達がいるので頑張れます。」

Eくん「朝鮮学校を高校無償化の対象から排除しないでほしいという署名活動を行なった。きついことを言う人もいたが、応援してくれる日本人の方が多かった。頑張るといふ言葉もかけてもらった。日本人に分かってもらったこと、応援してくれる人がいることが分かったことが嬉しい。朝鮮学校の存在をもっと知って欲しい。」

生徒たちの目は輝いていた。7日は卒業式、ぜひ頑張りたい。

授業風景や授業内容は日本の高校と変わらないが、日本人が忘れたもの、忘れかけているものを、この学校では教えている、そう強く感じた。

3月4日

昨日のジャズ・ライブで心地よく眠れた。ピアノは仙

台市出身の岩崎佳子、ベースは世界トップクラス稲葉国光、ギター杉本喜代志、ドラムは関根英雄とメンバーは日本を代表するメンバーである。自分の生活とはかけ離れている世界であるが、この1時間半は癒された空間であった。このライブに連れて行ってくれた曾戸氏に感謝、今日は8時半から社民党幹事会、普天間問題で激論、県内移設先名前が出ている社民党県連合から問い合わせや抗議が出ているからである。再度これまでの経過を確認しながらグアムなど「国外移設」方針を確認し、5月決着に向けて全力で取り組む意思疎通を図る。又、幹事長会議において与党「沖縄基地問題検討委員会」を尊重し政府が一方的に打ち切ることのないよう申し入れする事も確認する。幹事会延びたので10時40分からの青少年問題特別委員会理事会に少し遅れる。昼から全国伝統工芸品受賞表彰式に上野秘書と出席、山形県から温海関川の羽越しな布組合の会長が功労賞受賞、秋田、福島県からも受賞、輪島塗、西陣織、有田焼など日本を代表する工芸品も多いが、後継者、厳しい修行、経営など伝統工芸を引き継いでいくためには課題も多い。心から関係者のご労苦に敬意を表します。受賞された皆さんおめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。4時に読売



新聞社山形支社S記者挨拶に来る。挨拶と言っても、昨日民主党参議院選挙第1次公認に山形が決まっていな事、社民党の県内参議院選挙取り組み状況などの意見交換である。私からの情報はないので記者から山形の状況を逆に聞く交換会になった。さすが記者の情報は豊富である。自分の意図するところと違う内容記事が載ったりするから記者と話しするのは大変であるが、今日は県内の状況を聞くことができ参考になった。上野秘書来週から1週間大学院卒業式の為オーストラリアに行く。その間手伝いをしてくれる岡崎氏に引継ぎ、バタバタ忙しい。10日付けのニュース発行、ひでお行動の発行と今日中に目処をつけると・・・映像のM氏を誘い夕食しながらホームページ指導をう

ける。

